



TOPICS

- ・千里山キャンパスに
新グラウンド竣工!
- ・侍ジャパン誕生!
- ・秋季リーグ戦にむけて
- ・春季新人戦結果報告
- ・達摩省一元監督を偲んで
- ・野球応援に懸ける思い
- ・5リーグ対抗戦
- ・編集後記



千里山キャンパスに「KAISERS BASEBALL FIELD」が竣工!

野球部の現役選手とOBの方々が永年待ち望んでいた野球専用グラウンドがこのほど完成し、平成28年8月25日に竣工式が挙行されました。竣工式には池内理事長、楠見学長をはじめとする大学関係者、教育後援会、校友会、野球部関係者及び全野球部員が参列しはじめにグラウンドの完成を記念して始球式を行いました。始球式は理事長、学長とともに顧問の田尻先生、豊島OB会長ら10人の方で行われ、捕手役を野球部員が務めました。

竣工式では、池内理事長や楠見学長から「学生の本望である学業に励み、野球部が先頭に立って関大の体育会を引っ張ってほしい」と激励の言葉をいただきました。私たち野球部が多くの方に期待していただいているということを実感すると同時に、秋季リーグ戦では何としてでも優勝し、感謝の気持ちを結果で示したいと改めて思いました。

新グラウンドの名称は「KAISERS BASEBALL FIELD」で、これまで千里山キャンパスの練習場所であった千里山北グラウンド(旧第3グラウンド)の敷地に完成したもので、両翼95m・センター118m、内野が黒土、外野は人工芝を完備、そしてダッグアウト、外野フェンス及びスコアボードや2階建て本部棟の新設、バックネット及びブルペンの改修など、より一層野球に集中できる環境が整備されました。このグラウンドの完成により、野球部はこれまで千里山キャンパス(授業時)と高槻キャンパス(夏季、春季休暇時)のグラウンドを使用して練習を行ってききましたが、

今後は新グラウンドを野球部の本拠地として使用することになり、8月25日から早速練習を行い、8月30日には大阪商業大学とオープン戦も行いました。なお、野球部OBに対してのお披露目会は10月16日(日)を予定していますが、ご父母の皆さまも、千里山キャンパスにお越しの際には是非、新グラウンドの見学にお越しください。



始球式を行う楠見学長



豊島OB会長



田尻顧問



グラウンドの全景

秋季リーグ戦にむけて

春季リーグ戦は 7 勝 5 敗 1 分勝ち点 3 の第 3 位という結果に終わり、攻撃面で課題の残ったリーグ戦となりました。そしてこの悔しさを晴らすため、秋季リーグ戦に向け夏のオープン戦や遠征に力を注いで参りました。東海遠征では社会人チームと試合をし、様々な収穫があったと思います。そして 1・2 年生からは新たな戦力となる選手も現れています。森吉（総情 1・大産大附）は勝負強さと巧みな打撃技術が魅力の好打者で、オープン戦でも 3 割を超える打率を残しました。また、春季リーグ戦でも登板した濱田（法 2・東福岡）や肥後（人間 1・広陵）らの投手陣も力をつけています。

4 年生は最後のリーグ戦を迎えます。力を合わせて、『全国制覇』への第一歩となるリーグ優勝を必ず達成したいと思いますので、熱いご声援よろしくお願いいたします。

4 年生は最後のリーグ戦を迎えます。力を合わせて、『全国制覇』への第一歩となるリーグ優勝を必ず達成したいと思いますので、熱いご声援よろしくお願いいたします。

☆秋季リーグ戦日程☆

節	月	日	曜日	時間	対戦相手	球場
1		3	土	9:30	開会式	わかさスタジアム京都
2		10	土	13:00	近畿大学	皇子山球場
		11	日	10:30		
		12	月	未定	同志社大学	南港中央野球場
3	9	17	土	13:00		
		18	日	10:30		
		20	火	未定	京都大学	ほっともっとフィールド神戸
4		24	土	10:30		
		25	日	13:00		
		26	月	未定		
6		9	日	13:00	立命館大学	南港中央野球場
		10	月・祝	10:30		
		12	水	未定		
	10	21	金	13:00	関西学院大学	わかさスタジアム京都
8		22	土	13:00		
		23	日	未定		

春季リーグ戦では、たくさんのご声援をいただきありがとうございました。春のリーグ戦で感じたことはたくさんありますが、今は秋季リーグ戦での優勝しか見ていません。最後のリーグ戦は 4 年生が引っ張り、必ず神宮大会の舞台で、「全国制覇」を成し遂げたいと思います。

是非球場に足をお運びいただき、一緒に歓喜の瞬間を味わいましょう！

主将・松山 和哉（総情 4・PL 学園）

達摩省一元監督を偲んで

5 月 14 日（土）阪神甲子園球場横のミズノスクエアにて達摩省一元監督を偲ぶ会が開かれ、会場には野球部 OB など多くの方々が参列しました。野球部員と監督、コーチなどのスタッフは試合前に会場を訪れ、達摩元監督を偲びました。会場には日米大学野球選手権大会のユニフォームなどが飾られ、当時を懐かしむ声が聞かれました。

◎プロフィール

石川県生まれ。大阪・寝屋川高一関大で投手。

昭和 42 年 関大野球部監督に就任。7 度のリーグ戦優勝を果たす。

昭和 47 年 現関大野球部アドバイザースタッフの山口高志氏を擁して春秋の関西六大学リーグ、全日本選手権、明治神宮大会を制し、大学野球史上初の 4 冠を達成。第 1 回日米大学野球選手権大会では全日本チームの監督を務めた。

関西大学野球部監督を退任後、高校野球の甲子園大会の審判委員を務められました。審判委員を引退した後は、NHK の高校野球放送の解説者として親しまれ、日本高野連の技術・振興委員長などを歴任されました。



5リーグ対抗戦

6月25日(土)～6月27日(月)わかさスタジアム京都にて、関西オールスター5リーグ対抗戦が行われました。関大からは投手の吉川(文 4・関大北陽)・阪本大(経 3・履正社)、野手の松山・古川(商 2・東大阪大柏原)が選出されました。初戦の関西六大学野球連盟戦は2-0で勝利しました。9回には阪本大が好投を見せ、古川も守備で勝利に貢献しました！決勝戦の阪神大学野球連盟戦は吉川が3回を投げ1安打に抑えましたが4-10で敗北し、優勝を逃してしまいました。秋に行われる関西地区代表決定戦のシード権を獲得することはできませんでしたが、この5リーグ対抗戦での経験をチームでも活かしてほしいと思います。

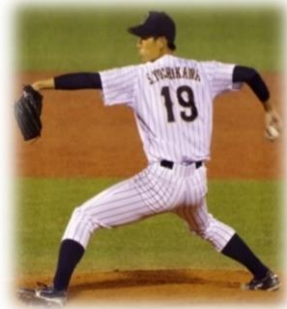


好投を見せた阪本大

侍ジャパン誕生！

関大投手陣の柱の1人である吉川が、侍ジャパン大学日本代表に選出されました。吉川は春季リーグ戦で防御率1.30という好成績を残し、6月16日から神奈川で行われた全日本代表候補合宿では、吉川の武器であるシンカーと140キロを超える直球が高く評価され、見事日本代表の座を勝ち取りました。

7月12日から新潟・東京・静岡で行われた日米大学野球選手権大会では、2試合で1 1/3回を投げ1本塁打を浴びるも3奪三振の好投で2大会連続18回目の優勝に貢献しました！



大学野球日本代表としてアメリカ代表と戦えたこと、そして優勝できたことはこれからの自分の財産となりました。対戦して肌で感じることで、とても大きなものを得ることができました。レベルの高い選手と同じチームでプレーできたことはとても刺激になりました。

今回の経験をこれからの野球人生の糧にし、精進していききたいと思います。
ご声援ありがとうございました。

吉川 峻平

春季新人戦結果報告

6月17日(金)・18日(土)南港中央野球場にて春季新人戦が行われました。

初戦：対 同志社大学 ○1-0

準決勝：対 関西学院大学 ○11-5

決勝戦：対 立命館大学 △4-4



決勝戦は連盟規定により引き分けて試合終了、優勝は連盟預かりとなりましたが、同率1位という結果に自信を持ち、秋は完全優勝を成し遂げたいと思います。また、3試合で16三振を奪った濱田が優秀選手賞を獲得しました。

☆新人戦主将

この新人戦ではチーム全体として良い雰囲気、全員が自分の役割を持って戦うことが出来ました。その中心でプレーできたことを自信にし、これからの野球生活に活かしていきたいと思います。

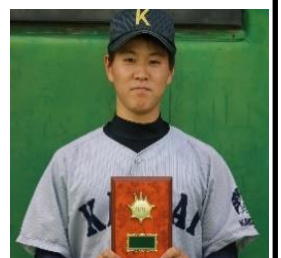
藤井 滉太(社2・須磨学園)



☆優秀選手賞獲得！

このような賞をいただくことが出来たのは、何度も味方の好守に助けられて、自分自身も自信をもって投げ込めた結果だと思います。これからも秋季リーグ戦に向け日々の練習に精進していきます。

濱田 駿(法2・東福岡)



野球応援に懸ける思い

わたしたち野球部の試合に応援団は欠かせません！関西大学の応援団はリーダー部、バトン・チアリーダー部、吹奏楽部の3パートで構成されています。いつも試合を盛り上げ、勝利に導いてくださる応援団の方々は日頃どのような思いで応援してくださっているのでしょうか。今回は応援団第94代団長・竹内美沙保さん(4年)、バトン・チアリーダー部部長・大梅志帆さん(4年)、吹奏楽部部長・小室真之介さん(4年)にお話を伺いました！



竹内美沙保さん

Q1. 自分にとって野球応援とはどのようなものですか。

竹内：野球応援は思い出も一番多いです。思い入れも強いです。応援の楽しさも、張り詰めた緊張感も勝利した時の嬉しさも、全て野球応援が教えてくれました。野球部がいてくれるからこそ応援できます。私たちに夢をくれる野球部に感謝しています！

大梅：活力をもらえるものです。野球応援に行く度に勇気と元気をもらいます。そのおかげで日々の活動も頑張れますし、近くで応援させていただける応援団をもっといいチームにしたいと痛感します。私はすぐに声が枯れてしまいがちですが、声が

枯れても声援を届けたいしエールを送りたい、何か少しでも力になりたいと思います。

小室：スポーツをしていない自分も熱くなることができるものです。応援をすることによって僭越ながら自分も一緒に戦っている気持ちになれます。

Q2. 秋季リーグ戦で最後の野球応援となりますが意気込みをお願いします！

竹内：全部勝ちたいです！全部勝ちましょう！4年間関大の勝利だけを望んできました。最後までその気持ちは変わりません。あとはこのリーグ戦で見る選手の姿とスタンドの景色を、ずっと覚えておけるようにしっかりと目に焼き付けます。すべてを出し切ります！

大梅：勝ちたい気持ちは譲れませんが、何よりも野球部のみなさん、そしてスタンドのみなさんの笑顔が見たいです！スタンド全員で歓喜の瞬間を味わうために、野球部の皆さんの日頃の努力が発揮できるように精一杯エールを送ります。泣いても笑っても最後となるリーグ戦なので絶対優勝し、神宮へ行きましょう！

小室：4年間応援してきた集大成を見せたいと思います！全試合、全曲魂を込めて演奏し、少しでも選手の皆さんの力になれるよう頑張りたいと思います。そして神宮球場で新コンバットを吹きたいです！秋のリーグ戦は必ず優勝しましょう。楽しみにしています！



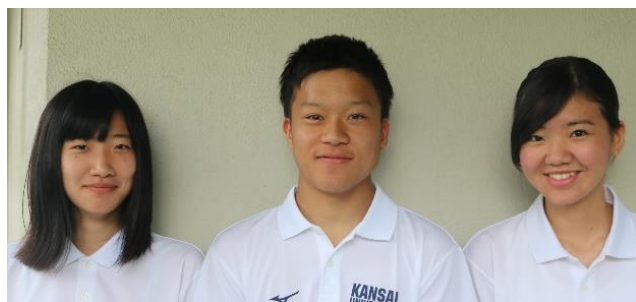
大梅志帆さん



小室真之介さん

編集後記

NL26号はいかがでしたか？夏季オープン戦も終え、チームは秋季リーグ戦に向けて気合十分です！吉川の大学日本代表選出や新グラウンドの完成などチームにとって刺激のあるニュースもあり、チームの士気も高まっています。秋季リーグ戦では全員の力を発揮できるよう、主将・松山を筆頭に、日々懸命に練習に取り組んでおりますので、秋季リーグ戦ではご声援をよろしくお願いいたします！



左から、岩野美咲(経1・和歌山信愛)、大島領太郎(文1・関大一)、三浦寧々(文1・神戸山手女子)